

受難の主日（枝の主日）

福音朗読：ルカ 23・1-49

2025.4.13 9：30 ミサ
カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

今日から、わたしたちは聖週間——教会の一年の中で最も大切な一週間が始まります。今日、この受難の主日においては、イエス様がエルサレムにやられてこられた場面と、そして、そのエルサレムでの最後の十字架上の死ですね、そのところをわたしたちは思い起こします。

今日のルカによる福音によるイエスの受難の中で、十字架につけられたイエス様に向かって、議員たちや兵士たち、そして一緒に十字架につけられている犯罪人の一人までもが「神の子なら自分を救ってみろ」——また犯罪人は「自分とわたしたちを救ってみろ」——^{のし}っていうふうにイエスを罵ったというふうに出てきます。

でも、福音書の読者たちはすでに分かっているんですけども、実際にその十字架上にいらっしゃるということを通して、イエス様はご自分が父のもとに向かう、つまりご自分が救われ——神様だから救われるっていう表現が正確か分かりませんが——、そしてご自分の道を歩み、そして人々をも今救っている、その最中であるのに、人々はそれが分からなくて、「十字架から降りて救ってみろ」っていうふうに、特に強盗の言葉の中に「自分たちを救ってみろ」っていうふうに言うわけなんです。人々にとっての救いというのは、^{ほかい}力を表して、そして他の人を思い通りに動かすということを意味しているのだということが明らかになるんです。

でも、イエス様にとっての——そして神様にとっての——救いってというのは、罪を犯して苦しんでいる者、苦しみの中にある者とともにあるということが救いなのであって、という、そしてまたそれを通して、実はその苦しみから解放されていく、そのことを十字架を通して、まさにその救いの業を行われているけれども、人々がそれには気が付かない。そういうギャップが表されているわけです。

イエス様が、苦しんでいる者、しかもその理由はどうかあれ自分の方に原因があつて苦しんでいる者と同じように、ともにあつてそしてともに苦しむ、そのことそのものが救いなのだというのは、実は、周りの人が自分の思い通りに動き、また自分にとって思い通りのことが起こるということだけを願い求めていることの中に、わたしたちが自分の苦しみを作り上げてしまっているのだと、そこから の解放を表しているということができるんです。

わたしたちは、直接お互いに自分と我々を救ってみろという言葉は向けないかもしれませんが、神様に対して、自分の願っていることを実現してみろ、また、周りの人に対して、自分が思っている通りに動けっていうことを、知らず知らずに要求し合っているということはあるのではないかなと、振り返る必要があるように思います。

でも、それだけを求めているならば、わたしたちはいつまでたっても苦しみの中にあるのだということだし、そうではなくて、その苦しみの中に同じように——直接の解決ではなくても——ともにいてくれる人がいる、あるいはともにその同じ時を存在して生きている者がいるということの中に恵みを見いだすならば、わたしたちが日々の生活の中で色々に経験する苦しみも、実は違った角度で——更に言うなら、神様の恵みとして見えてくる、あるいは恵みの入り口になりうるのではないかなと思うんです。

色々な病気やあるいは人生上のいろんな苦難、それを簡単に取り去られるというか解決することができるっていうことは本当はない。でもその中で、ともにいてくれる人がいる、そのことに目を向け、そしてそこに感謝をするということを通して、わたしたちは全ての物事が、そして他^たの人たちが自分の思い通りに動いていくということをお願いしてやまない、そういう中の、心のある意味では「地獄」から解放されていく、それをイエス様ご自身が十字架を通して示してくださっていると言えるのではないかと思います。

わたしたちそれぞれが、ともにあるということの中に意味を見いだし、そして今ともに生きているということの中に感謝を持って、神様ご自身と出会う恵みに触れることができますように。そして今またこの苦しみの中にある多くの人たちとわたしたち自身がそれぞれ、ともにある——お互いにその問題を取り除

き解決してあげることができなかったとしても、しかしそれ以上にともにあってそしてともに心を痛めるということそのものが、実は神への道なんだということをつつも思い起こすことができますように。十字架を通してわたしたちを復活の栄光に導いてくださるイエス様ご自身を、一人ひとりの心の中に今日お迎えしたいと思います。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>